

2025年 ミニトマトアイコ農作物栽培計画

改定日 2024年 9月 7日

団体名 (代表名)	農事組合法人 ながさき南部生産組合	生産者名 及び戸数	杉本敬 他12名	住所	〒859-2305 長崎県南島原市北有馬町戊2465-1	TEL FAX	0957-84-3393 0957-84-3177
--------------	----------------------	--------------	-------------	----	---------------------------------	------------	------------------------------

作目	ミニトマト	品種名	アイコ	出荷期間(時期)	11月～10月(周年)
----	-------	-----	-----	----------	-------------

栽培面積	313a	生産量	前年度実績 262トン	出荷規格	120g・150g・200g・3kg
反当株数	2,000株	(トン)	今年度計画 270トン	荷姿	段ボール・コンテナ

年間栽培計画

月次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業内容	誘芽 引かぎ	誘芽 引かぎ					収 穫 終 了		元ハ定 肥ウ植 ス開 ・始 マル チ被 覆	灌誘 水引	灌誘水 引かぎ	誘芽着 引か果 ぎ処理 始
防除等	※化学合成農薬等の使用については、「ながさき南部生産組合:ミディ、アイコの防除計画」を参照して下さい。											

土作り、施肥について	栽培の特徴	商品特徴・PR
有機配合肥料 アニリッチゴールド(683)・フィッシュパワー・カキライム・ぼかし・ アグリハーモニー・コフナ1号・マイルドフミン・海力No.1・恵土・富 民源(腐植)・土衛門・ゼオライト・CAドクター・カルシロン・宝コー ト・五穀堆肥・硫酸カリ・ハウシャ・海藻・粘土鉱物・白酢・発根力・ 糖力アップ・菌力アップ・ライムショット・MOX・トレハロース・ソツ コール・ラッキー液肥茶 完熟堆肥有機質肥料を主体に化成の 窒素を15kg/10a以内に抑えます。	化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめて います。除草剤も使用せず、有機質を 中心とした肥培管理を行い、よりよい土作 り、作物作りに努めています。ホルモン処 理のみでの着果促進を見直し、マルハナ バチも可能な限り利用しています。	肉厚で酸味が少なく普通のミディトマトより コピンが多く含まれ果実中のゼリー分が少 なく肉厚なため果汁が飛び散りにくく口 の中に果皮が残りにくいです。プラム型 のためスライスしやすい。うまみ成分のグル タミン酸含有量が高く生食以外にも加熱調 理など幅広く対応できます。

※長崎県慣行基準促成栽培化成窒素39kg

2025年度 ながさき南部生産組合：ミディ・ミニトマト(イエロー含む)の防除計画(RACコードあり) 改訂：2024年9月7日

対象病害虫	特載表示カット	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間	RACコード
【 殺 虫 剤 】										
コナジラミ類ハモグリバエ類アブラムシ類	1	19103	ベストガード粒剤	ニテンピラム	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{10}$ 1~2/株	1回 1回	鉢上げ時 定植時	4 A
	1	20806	アルバリン粒剤	ジノテフラン	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{10}$ 1~2/株	1回	育苗期 定植時	4 A
	1	20812	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	A	3000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	1回	前日	4 A
コナジラミ類ハモグリバエ類アブラムシ類アザミウマ類	1	23567	プリロソソ粒剤	シアントラニリプロール	普通物		2g/株	1回	鉢上げ時	28
コナジラミ類	1	22696	アニキ乳剤	レピメクチン	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	前日	6
オオタバコガ・ハスモンヨトウハモグリバエ類							2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)			
ハモグリバエ類・オオタバコガ・ダニ	1	19842	アフアーム乳剤	エマメチン安息香酸塩	普通物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	5回	前日	6
アブラムシ類・コナジラミ類	1	24016	トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル	—		1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	2回	前日	4 C
コナジラミ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ・アブラムシ	1	24209	ベネビアOD	シアントラニリプロール	普通物	—	2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	前日	28
オオタバコガ・ハモグリバエ類	0	20178	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	普通物	B	5000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	2回以内	前日	5
ダニ・タバコガ	1	19184	コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	前日	13
コナジラミ類	1	22797	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	普通物	B	4000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	前日	9 B
コナジラミ類	1	22093	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン	普通物	B	2000~4000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	2回	前日	23
うどんこ病・ハダニ類・アブラムシ類	0(有)	20316	ザンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド	普通物	A	300~600倍 (150~500 $\frac{1}{10}$ /10a)	4回	前日	—
サビダニ・タバココナジラミ類	1	17801	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート	普通物	C	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	14日前	2 1 A
コナジラミ類アブラムシ類	1	19102	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{10}$ /10a)	3回	前日	4 A

2025年度 ながさき南部生産組合：ミディ・ミニトマト(イエロー含む)の防除計画（RACコードあり） 改訂：2024年9月7日

対象病害虫	特裁表示カド	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間	RACコード
コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類オオタバコガ	1	22464	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール水和剤	普通物	B	100倍 1株当たり25ml	1回	育苗期～定植前日	28
							2000倍 100～300%/10a	3回	前日	
コナジラミ類・ダニ・ハモグリバエ類オオタバコガ	1	20016	マッチ乳剤	ルフェヌロン	普通物	B	2000～3000倍 (100～300%/10a)	2回	前日	15
コナジラミ類アブラムシ類	1	19113	モスピラン水溶剤	アセタミプリド	劇物	A	2000倍 (100～300%/10a)	3回	前日	4 A
コナジラミ類アブラムシ類	1	23187	モベントフロアブル	スピロテトラマト	普通物	-	2000倍 (100～300%/10a)	3回	前日	23
コナジラミ類・トマトハモグリバエ類・ハンモスヨトウ	1	24185	グレーシア乳剤	フルキサメタシド乳剤	普通物	—	2000倍 (100～300%/10a)	2回	前日	30
コナジラミ類	0	23731	ベミデタッチ	グリセリン酢酸脂肪酸エステル乳剤	普通物	—	500倍 (100～300%/10a)	—	前日	—
ハダニ類・チャノホコリダニ・トマトサビダニ・コナジラミ類	0	22801	サフオイル乳剤	調合油（サフラワー油および綿実油の含量として）97.0%	普通物	—	300倍～500倍 (100～500%/10a)	—	前日	—
アブラムシ類・ハダニ類・コナジラミ類・うどんこ病	0	22477	ムシラップ	ソルビタン脂肪酸エステル乳剤	普通物	—	500倍 (100～300%/10a)	—	前日	—
ハダニ類・ハモグリバエ・アザミウマ・コナジラミ類・オオタバコガ	0	24054	ダブルシューターSE	脂肪酸グリセリド75%スピノサド5%水、界面活性剤20%	普通物	—	1000倍 (100～300%/10a)	2回	前日	5
アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ	1	24090	ベリマークSC	シアントラニリプロール	普通物	-	400倍 25ml/1株	灌注のみ1回	鉢上げ後	28
ハダニ・アブラムシ・コナジラミ類・うどんこ病	0	23741	フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル	普通物	—	1000倍 (150～500%/10a)	—	前日	—
アザミウマ・コナジラミ・ハモグリバエ・オオタバコガ・ハスモンヨトウ	1	22910	ディアナSC	スピネトラム	普通物	B	2500～5000倍 (100～300%/10a)	2回	前日	5
コナジラミ類	0	20956	ボタニガードES	ポーベリア・バシアーナ	—	—	1000～2000倍 (100～300%/10a)	—	—	—

2025年度 ながさき南部生産組合：ミディ・ミニトマト(イエロー含む)の防除計画(RACコードあり) 改訂：2024年9月7日

対象病害虫	特裁表示カウト	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間	RACコード
タバココナジラミ・オンシツコナジラミ	0	21070	エルカード	サバクツヤコハチ	—	—	1箱/10a	—	—	「-(生)」
タバココナジラミ・オンシツコナジラミ	0	18929	エンストリップ	オンシツツヤコハチ	—	—	1カード/25~30株	—	—	「-(生)」
【 殺菌剤 】										
灰色かび病・葉かび病・菌核・うどんこ病	1	22209	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	普通物	B	2000倍 (100~300%/10a)	3回	前日	7
うどんこ病	0	17827	イオウフロアブル	硫黄	普通物	A	500~1000倍	—	—	M2
葉かび病	1	21469	カンタスドライフロアブル	ボスカリド水和剤	普通物	A	10000~1500倍 (100~300%/10a)	3回	前日	7
うどんこ病・さび病灰色かび病・葉かび病	0	18358	カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物	A	800~1000倍 (100~300%/10a)	—	前日	NC
灰色かび病	1	19426	セビアーフロアブル20	フルジオキソニル	普通物	A	1000~1500倍 (100~300%/10a)	3回	前日	12
疫病	2	23455	ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン・ジメトモルフ	普通物	—	1500倍 (100~300%/10a)	3回	前日	45
うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉かび病	2	22290	シグナムWDG	ピラクロストロピン・ボスカリド	普通物	C	2000倍 (100~300%/10a)	2回	前日	7—11
うどんこ病	2	21117	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミゾール	普通物	B	2000倍 (100~300%/10a)	2回	前日	3—U6
すすかび病・灰色かび病・葉かび病・菌核病・斑点病	1	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ	普通物	—	2000~3000倍 (100~300%/10a)	3回	前日	11
灰色かび病	1	19100	フルピカフロアブル	メパニピリム	普通物	—	2000~3000倍 (100~300%/10a)	4回	前日	9
疫病・葉かび病	2	20354	ホライズントドライフロアブル	シモキサニル ファモキサドン	普通物	C	1500~2500倍 (150~300%/10a)	3回	前日	11—27
うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉かび病	1	19884	ベルコートフロアブル	イミノクタジンアルベシ ル酸塩	普通物	A	4000倍 (100~300%/10a)	2回	前日	M7

2025年度 ながさき南部生産組合：ミディ・ミニトマト(イエロー含む)の防除計画(RACコードあり) 改訂：2024年9月7日

対象病害虫	特裁表示カウント	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間	RACコード
うどん粉・葉カビ	1	23921	ネクスターフロアブル	イソピラザム	普通物		1000倍 (100~300%/10a)	3回	前日	7
疫病・べと病	1	22379	レバースフロアブル	マンジプロパミド	普通物	-	2000倍 (100~300%/10a)	3回	前日	40
【着果促進剤】										
着果促進・果実の肥大促進	1	6072	トマトトーン	4-CPA	普通物	C	低温時50倍 高温時100倍	1花房につき1回	—	—
【生物農薬】										
対象病害虫	特裁表示カウント	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間	
トマトサビダニ	0	18406	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	普通物	C	1500倍 (100~300%/10a)	2回	前日	6
灰色かび病・うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	1000倍 (150~300%/10a)	—	発病前	BM2
うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	使用量：300g/10a 使用液量：6~10%/10a	—	発病前~発病初期	BM2
葉かび病	0	21071	インプレッション水和剤	バチルス・ズブチルス	—	—	500倍	—	発病前~発病初期	44

※ 圃場で使用する農薬に多少違いは生じると思いますが、化学合成農薬の殺菌剤・殺虫剤の農薬総使用回数(成分カウント)を25回以内に抑え、1回でも使用回数を減らすよう努力致します。

※ 化学合成農薬以外にも生物農薬を使用します。

※ 慣行栽培(ミディ：58回・ミニ：56回)における農薬の使用状況例と比較して頂き、減農薬栽培としての努力を御理解ください。

※ 通常マルハナバチによる着果促進を行い、補完的に植物調整剤を使用します。 ※ (有)は有機で使用可能。

※ 農薬の使用回数にあたっては、育苗時(購入前も含む)の防除も含めて個々の農薬の使用限度回数を守ってください。

※2020年8月20日 プリロッソ粒剤・ダブルシューターSEを追加する。2020年12月7日セイビアーフロアブル20を追加する。

注意：プリロッソ粒剤は、ベリマークSCと同じ成分。

※2021年8月27日 フーモン・ディアナSC・エルカード・エンストリップを追加する。

※2024年9月6日ここ数年の気候変動により病害虫の発生が多くなり農薬総使用回数(成分カウント)を20回から25回へ変更する。